

お元気ですか

南 恵子

です

発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

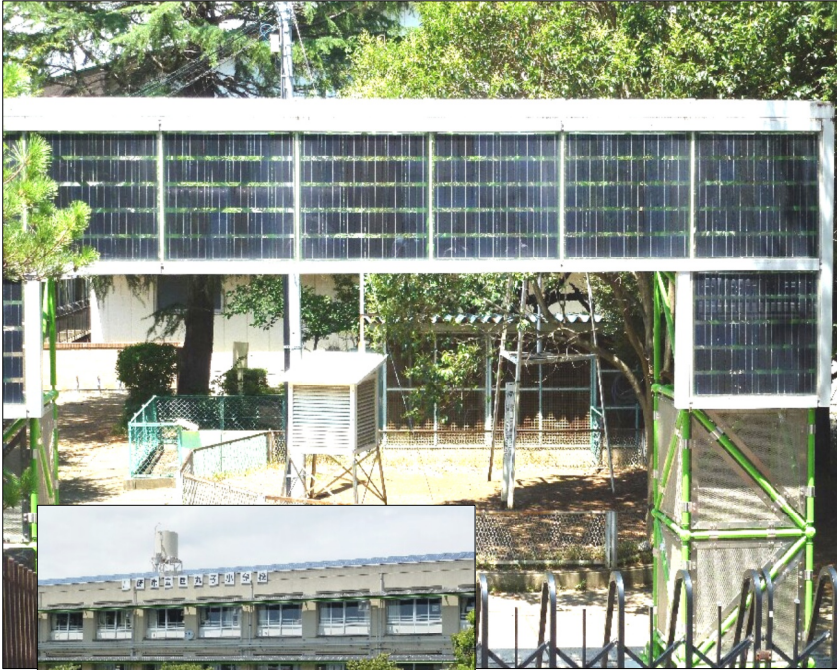
メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



西丸子小学校の校舎に設備されている、太陽光発電設備の写真です。

太陽光発電 土日の余剰電力は売電 川崎・西丸子小学校 学校屋上はもちろん校舎の ひさしや壁面にも

8月4日、川崎市を訪問。学校の校舎を利用した太陽光発電について話を聞き、校舎全体に設置されている西丸子小学校を見てきました。

川崎市は、国の補助金『スクールニューデール構想』を活用して100KWの太陽光発電を西丸子小学校に設備し、昨年11月から運転しています。設備の状況は、屋上だけでなく、校舎のひさし、壁面、写真のように校門などのパネルを取り付けています。ひさしにも取り付けられるので驚いて、じかに見てみたいと思いついて行きました。上の写真(小さな写真)ではわかりにくいのですが、屋上とひさし、壁面にパネルが取り付けられています。全部合わせると600枚になるそうです。

環境教育と省エネ教育

に 発電した電力はもちろん学校内で使用しますが、余剰電力が発生した場合は東京電力へ売電します。停電時は職員室あるいは保健室の専用コンセントから非常用電源として使用できるようにセットされています。また、子どもたちの環境教育にも貢献できるよう校門前に発電量や使用量がわかるパネルを設置してあります。

日常生活の中で、子どもたちが発電や電気の使用に対しての認識を持つことはとても大事です。

文科省が2分の一補助で積極的に推進

文部科学省は、大震災前か

ら学校に太陽光発電設備に対する補助金をつけ、全国的に普及をはかってきました。

今日、原発事故で自然エネルギーへの転換が求められる中、学校などの公共施設にしっかりと太陽光発電設備などを行うつて自然エネルギーの普及だけでなく、省エネの意識も広げることがあります。

しかし、大震災の復旧・復興財源がかかるときだけに、この補助金額が少なくなることも予想されますが、今日的な意義を再確認して、継続を強く求めたいと思います。

なお、西丸子小学校の設備に要した費用は2億円で、そのうちの半分が国の補助



品川平和のための戦争展で朗読します 「海が哭く 人が泣く」

エネルギーのきめきま きものことって日常のこ
と 地球の日常のこもくしゃみやしゃつくりがある
あるのでしょうか
3月11日のきめきまあまりにも激しかった 何をそ
んなに嘆いたのか 何をそんなに怒ったのか かく
しきれぬ 動揺が 海面を揺らませあられさせ 突
然のように大泣きさせたのでしょうか
そこへ原発もあつたのです
東北は半年雪の中がから 過剰から 高度産業が
成り立たぬかも 異変から 危険なもの 嫌が
られるものが押し付けられるのです 原子力を売
り物とする企業は地球から消えなればなれ
せん
穏やかな発電を切り替えたとき 海も人も
穏やかな灯りがともるでしょう

品川区立小中学校はど うなっているの・・・？

一方、品川区立の学校ではどこまですすんでいるのでしょうか。現在工事中も含めると、12校に設備されていますが、荏原第五中学校は20KWの発電パネルが設備されていますが、これが最大です。次は、校舎の耐性で設備内容が違うのでそれぞれ違いますが、今後は省エネが求められますので、もっと規模を大きくしてほしいものです。

生活・雇用・子どもだて・教育など何でもお気軽にご相談ください
連絡先 南恵子区議会議員 電話(37990)1523